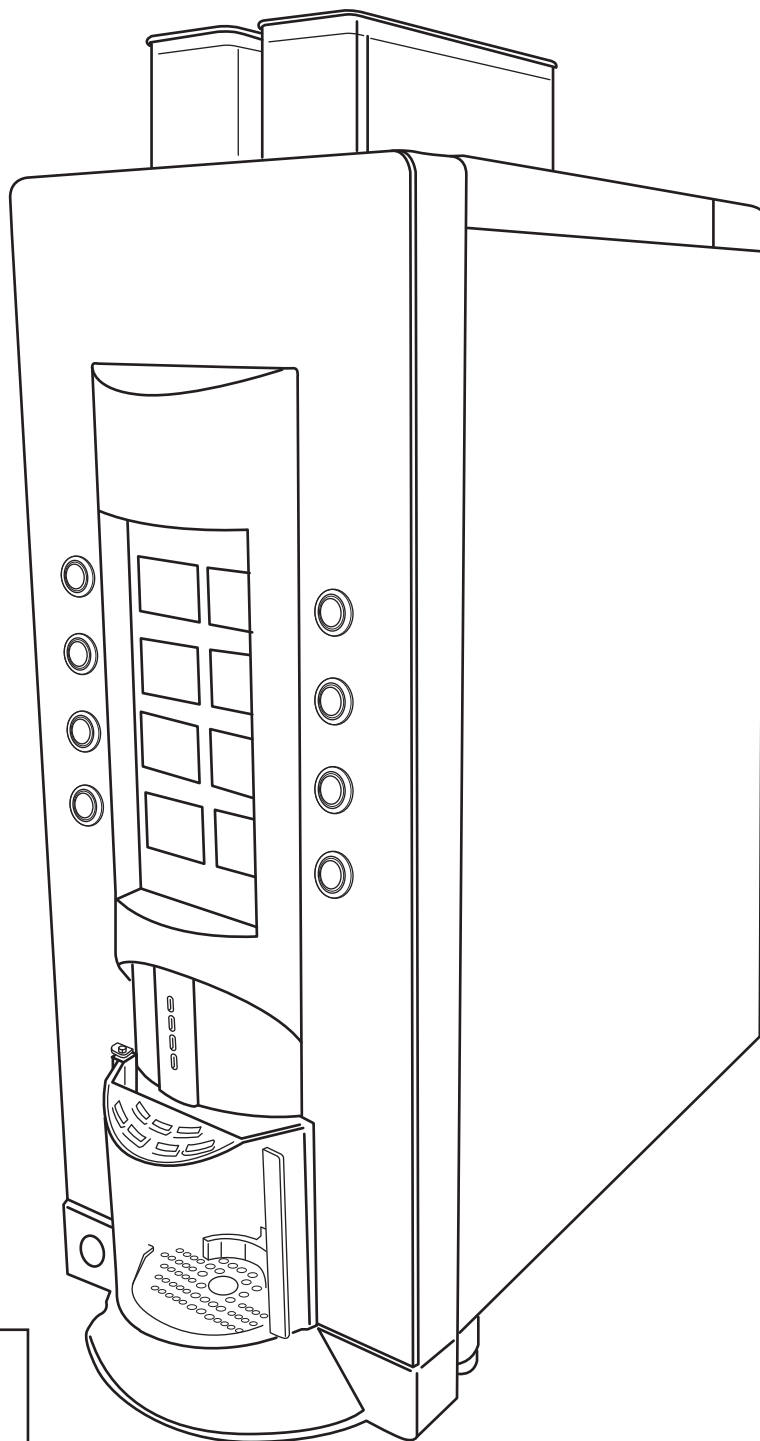


全自動ドリップコーヒーマシン

BM-SAD2

取扱説明書



目 次

● 安全上の注意事項	1 ~ 2
● 各部の名称	3 ~ 4
● キーボード	5
● 設置・立ち上げ	6 ~ 10
● コーヒーの抽出	11 ~ 13
● メンテナンス	14 ~ 20
● エラーコード	21
● 故障表示	22
● 故障かな?	23
● 仕様	24 ~ 25
● 製品保証書、無料修理規定	裏表紙

このたびは BONMAC BM-SAD2をお求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。
表示内容は次の通りです。



警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

Y型取付機器の電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくは、その代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない。

コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性があります。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

マシンから水漏れを確認した場合、マシンの電源をぬいて販売店へ連絡ください。

すすぎ中は抽出口やノズルに手を近づけないでください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

熱い飲み物でやけどをする恐れがあります。

適切なドリンクの容器のみ使用してください。容器の破損及び、火傷の恐れがあります。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外は行わないでください。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

注意

この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

電源は設置場所から 1m 以内に準備してください。

屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。

高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。

機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。

設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。

メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。

メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。

給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。

ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。

本機の上に物を置かないでください。

製品にもたれたり、乗ったりしないでください。

運転中、ホッパー内や可動部に手を入れないでください。

清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。

マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。

排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。

漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。

クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。

使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。

洗浄剤をドリンクに混入させないでください。

営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。

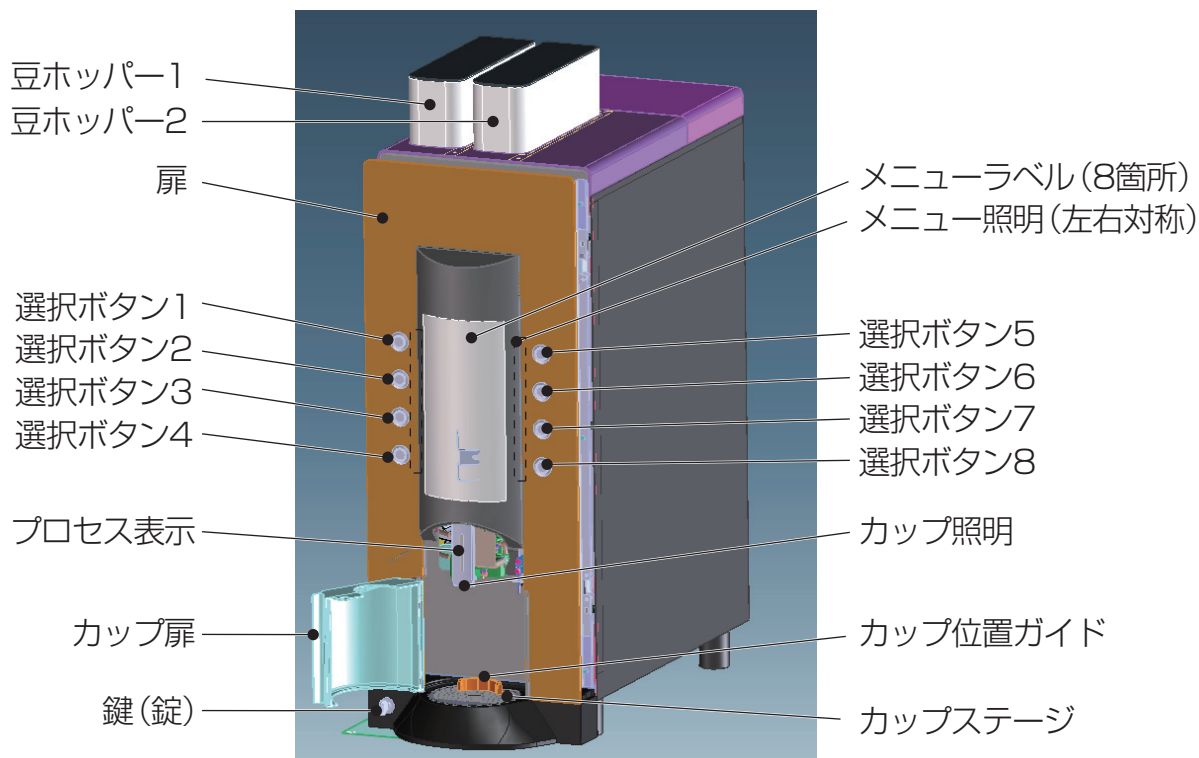
断水の時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めてください。

断水が発生した場合や長期間マシン(7 日間以上)使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。

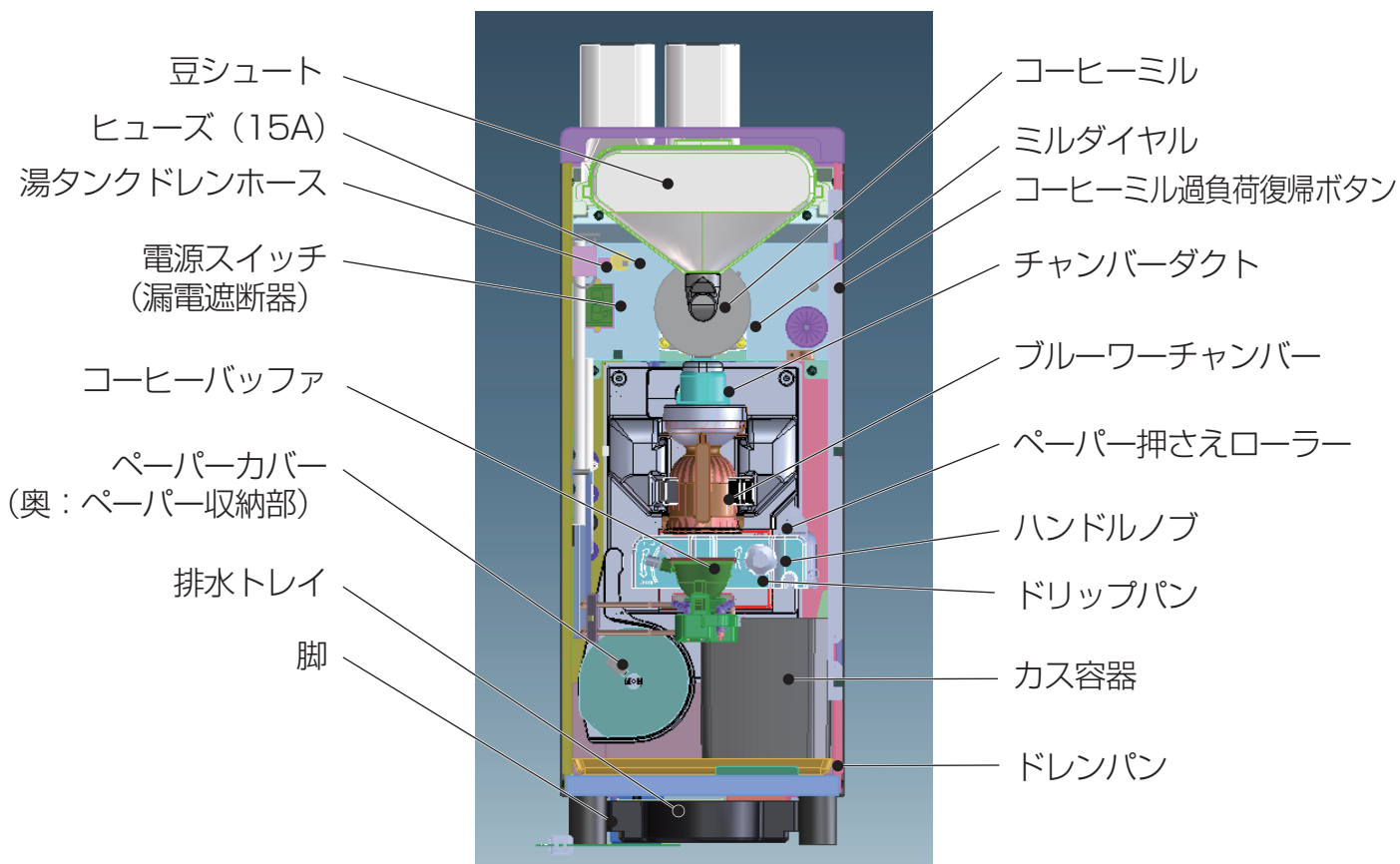
設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

各部名称

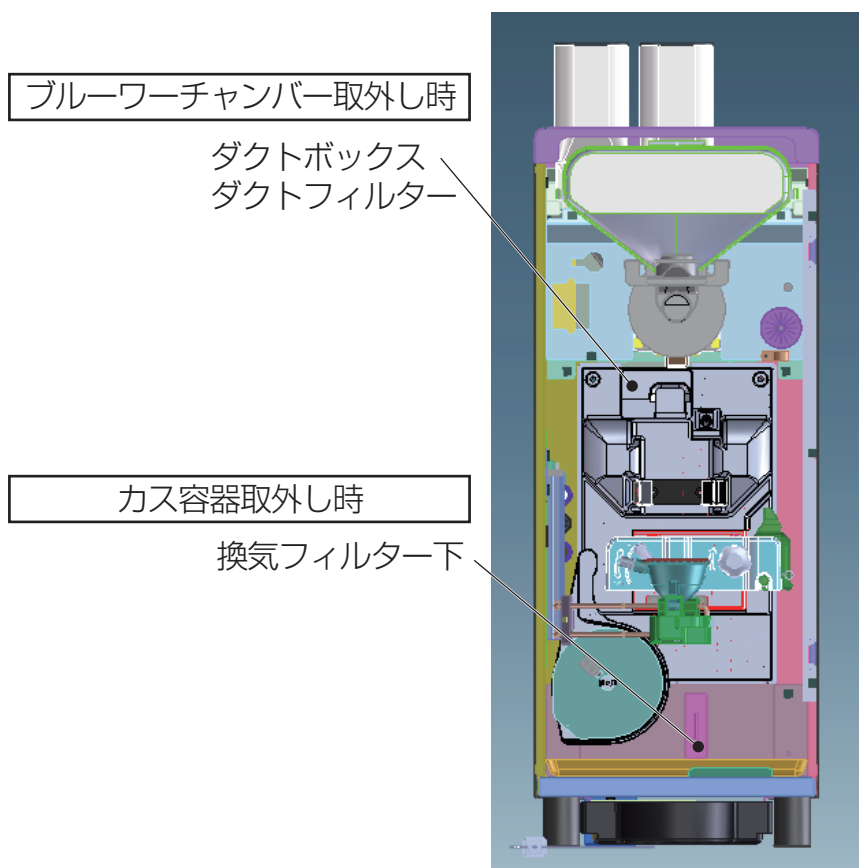
外部名称



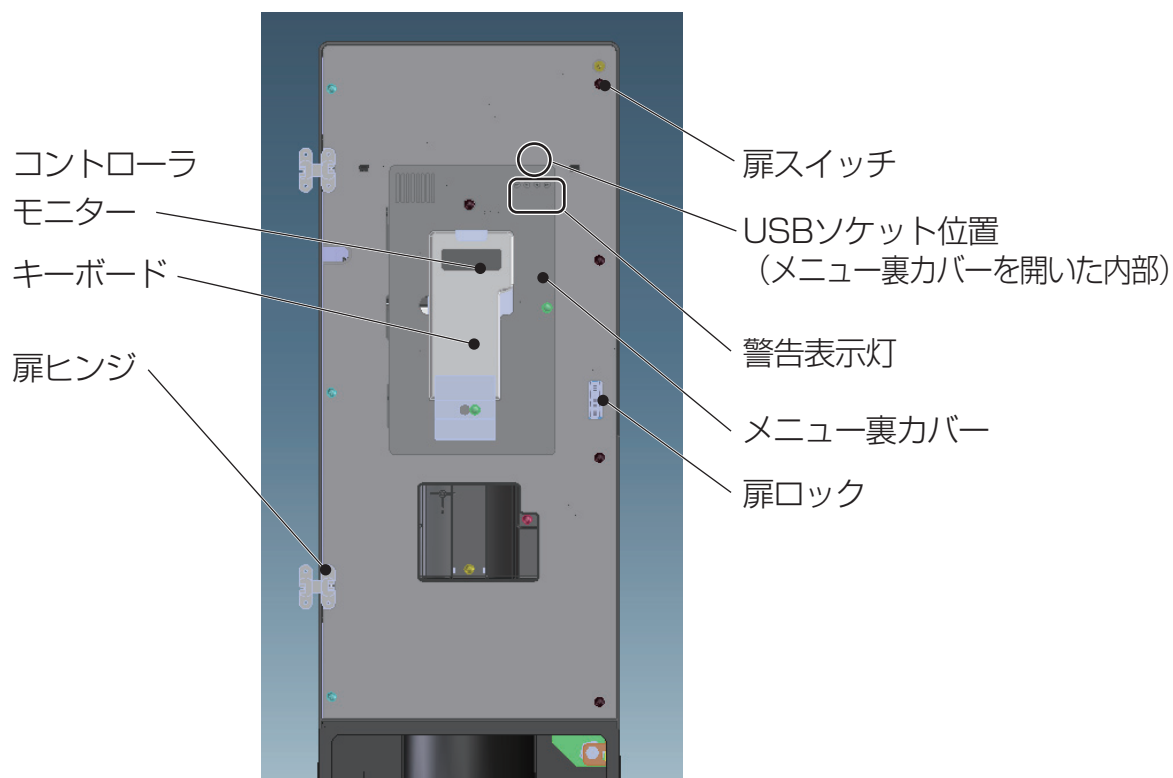
内部名称 (本体部一扉開時)



内部名称（本体部一部品取り外し時）

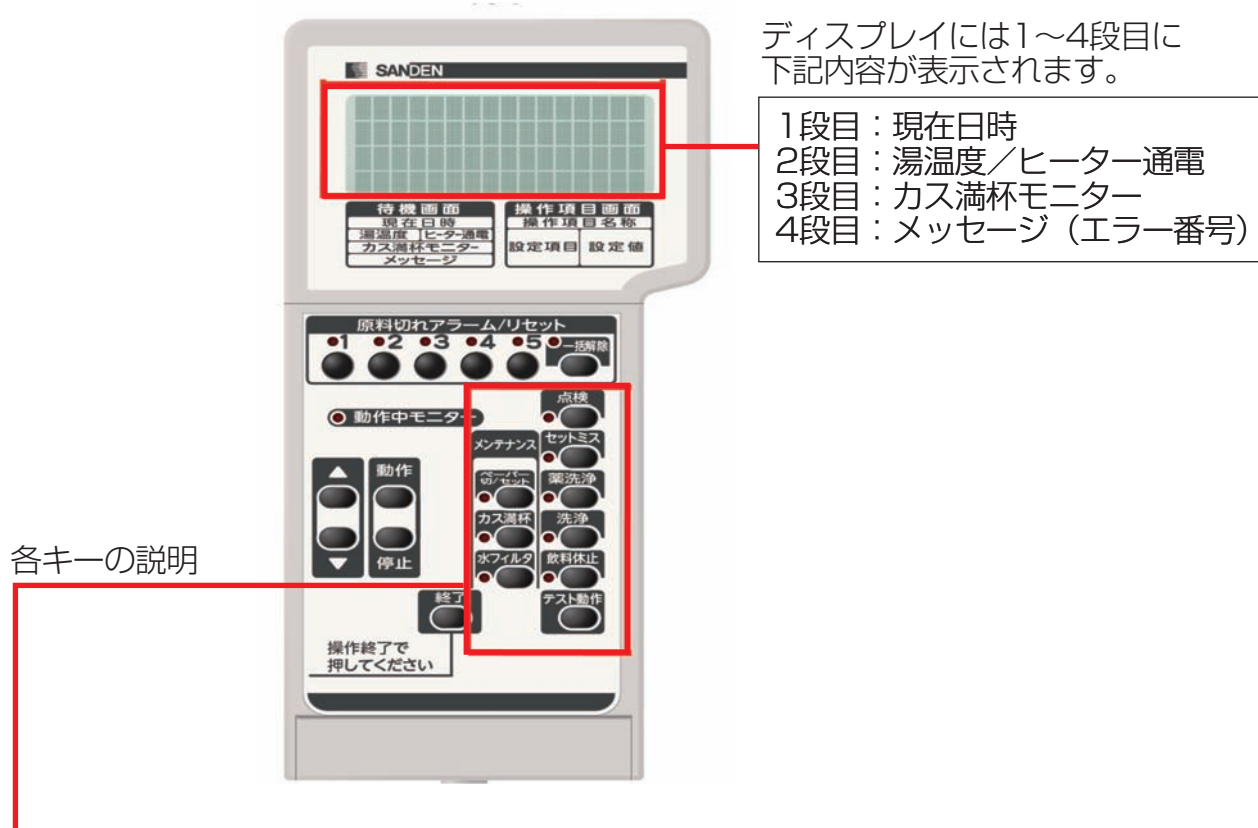


内部名称（扉裏側）



キーボード

キーボードの機能（日常的に使用する項目）



キー名称	機能項目
点検	現在の売り切れ内容、故障内容を表示します。 点滅：売り切れが発生しています。 点灯：故障が発生しています。
セットミス	チャンバー又はドリップパンのセットミスを解除します。 点灯：チャンバー又はドリップパンが装着されていません。
薬洗浄	薬剤を使用してブルワーを洗浄する機能です。 本機能は必ず専用の薬剤を使用して実施してください。
洗浄	湯でブルワー内を洗浄します。
飲料禁止	一時的に飲料の抽出を休止させたい場合、本ボタンを押した後、休止したい飲料の選択ボタンを押すことにより、飲料の休止設定が行えます。
テスト動作	単品抽出動作テスト/ブルワー動作テスト/ミル動作テストを行います。
ペーパー切/セット	ペーパーフィルターを交換する場合に、ドリップパンを降下させます。 点滅：もうすぐペーパーフィルターがなくなります。 点灯：ペーパーフィルターがなくなりました。
カス満杯	カス満杯カウンターをリセットします。 点滅：もうすぐコーヒーカスが満杯になります。 点灯：コーヒーカスが満杯です。
水フィルター	水フィルターアラームカウンターをリセットします。 点灯：水フィルターの交換時期です。
原料切れアラーム/リセット	原料切れアラームをリセットします。 点灯：対応する番号の原料が売り切れです。

設置・立ち上げ

設置

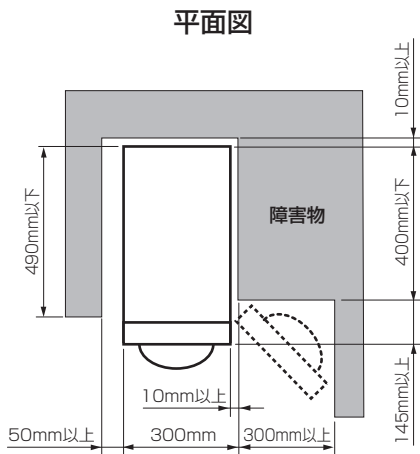
1 輸送用部品取り外し

ホッパー、カス容器等が輸送用テープで固定されています。テープを全て外してください。

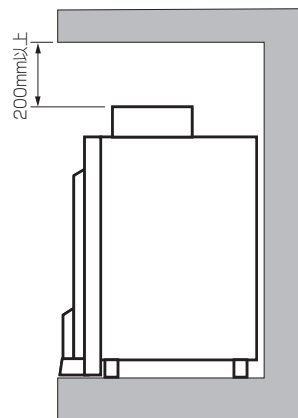
2 製品の据え付け

- ・本製品は屋内専用機です。雨水のかからない場所、風や直射日光が当たりにくい場所に設置してください。
- ・本製品は水道直結式です。近傍に上水道設備が必要です。
- ・本製品は排水トレイに水が溜まります。近傍に排水設備がある場所を選定してください。
- ・設置周囲は扉の開閉スペース及び原料の投入スペースを確保してください。
- ・水平に据え付けてください。傾きが前後左右とも1度以内となるよう脚を回して調整してください。脚はねじ込み位置より8mm以上出さないでください。

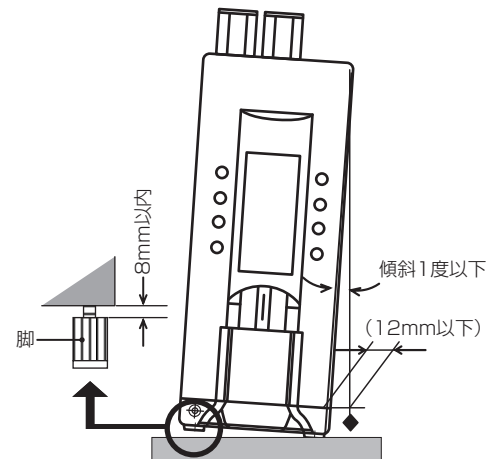
設置スペース



側面図 (Side view)



本機の傾き限界 (Machine tilt limit)



※配風のため少なくとも左右いずれかの側面は50mm以上の隙間を空けてください。

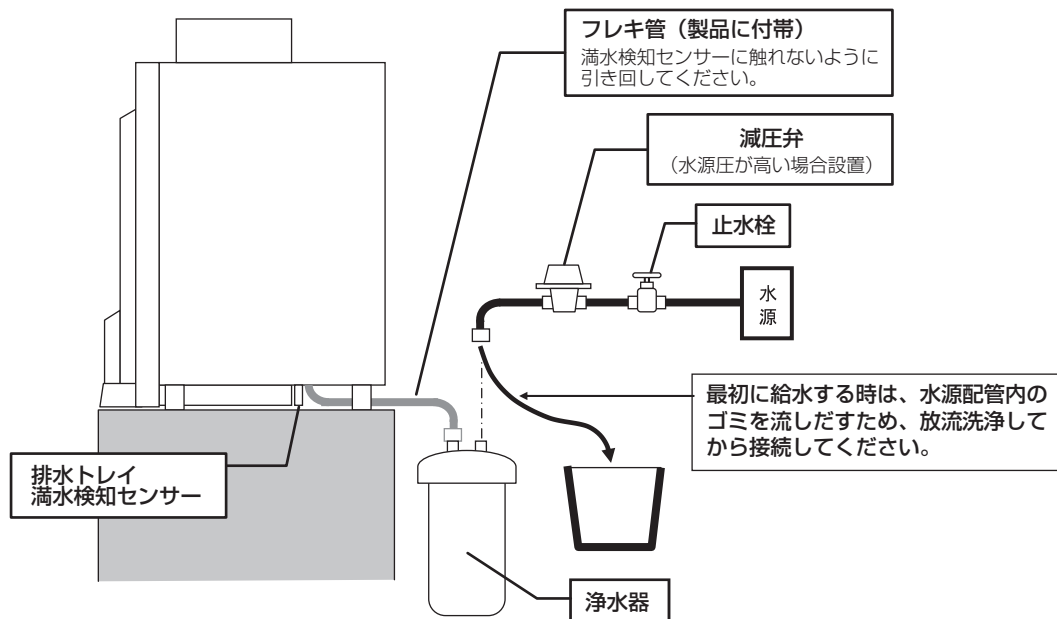
3 給水配管

- ・水源を機体下面より出ているフレキ管に接続します。フレキ管は自在に曲がりますので給水配管を引き回す方向に合わせてください。
注意：フレキ管は機械底面の排水トレイや満水検知センサーに当たらないように引き回してください。(次ページ配管例図参照)
- ・水源には必ず止水栓を設けてください。
- ・給水する水は水道法による公営水道を使用してください。それ以外の水を使用する場合は、水道法に定める水質基準以上の水を使用してください。
- ・水道配管工事は水道局の指定工事店に依頼して行ってください。
- ・給水圧は0.1~0.75MPaの間でお使いください。高すぎると給水電磁弁等の故障の原因になりますので水路に減圧弁を取り付けて、水圧を0.1~0.2MPaの間に調節してください。
- ・良質なコーヒーを提供するため、水源と製品の間に浄水器を取り付けることをお勧めいたします。

設置・立ち上げ

立ち上げの作業手順

配管例

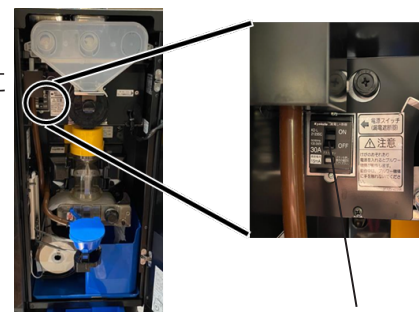
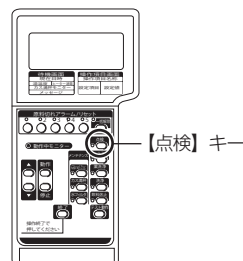
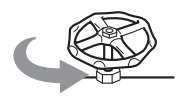


1 電源・アース線の接続

- 電源は単相交流100V-15A以上の専用コンセントに接続してください。
（注）電源コードを電源コンセントに差し込む方向は、電線が下向きに出る方向にしてください。
万一、電源コードに伝わって水滴が流れたとき、コンセントに水滴が流れ込み焼損する危険を防止します。
- 本製品は最大10.5Aの電流を消費します。
他の電気器具と併用すると電源元の電流制限ブレーカが動作する可能性があります。
- アースの取付け
機械背面のアース線を接地してください。
万一製品に漏電が発生した場合に自動的に電源を遮断し、人身が感電するのを防ぎます。

2 電源を入れる

- 水道の元栓を開けて下さい。
本機の扉を開け、内部にある電源スイッチ（漏電遮断器）をONにします。
給水を開始し、湯タンクが満水になると給水を停止します。
※湯タンクの水位が規定水位以上となるとヒーターが入り加温を開始します。
※メンテナンス05「食衛売り切れ機能」が工場出荷時は「ムコウ」に
設定されていますので、自動的にヒーター加温を開始しますが、「ユウコウ」に
設定されている場合は加温を開始しません。
この場合はキーボードの【点検】キーのメニューより
「食衛リセット」操作を行ってください。

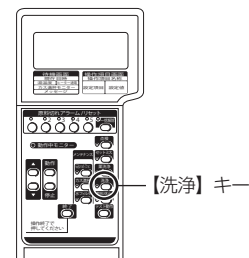


電源スイッチ
（漏電遮断器）

3 初期洗浄

- 工場出荷時飲料通路は洗浄してありますが、製品在庫時や開梱後の保管状態によっては塵埃が付着・侵入している事がありますので、はじめてご使用の際には初期洗浄を行ってください。

- 2で電源投入後、湯が沸き上がったら一旦タンクの湯を抜いて再給水してください。
湯タンクの水抜きは一旦電源スイッチをOFFし、本体内部左側の湯タンクドレンホースを使用して湯を排水してください。
※ **高温のお湯が排水されますので、やけどにご注意ください。**
- 再び電源スイッチをONにし、再び湯が沸き上がりましたら
キーボードの【洗浄】キーでブルワー湯洗浄を実施してください。



4 原料充填

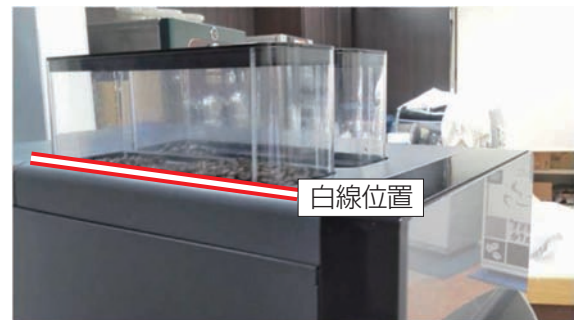
- ① コーヒー豆を豆ホッパーに充填します。
- ② 左側の豆ホッパー1が飲料コードのマメ1、中央の豆ホッパー2が飲料コードのマメ2に相当します。
- ③ アイスコーヒー用の深煎り豆は油脂分が多く豆シュートの斜面に微粉が堆積し豆が落下しにくくなる場合がありますので、豆ホッパー2（マメ2）の位置でご使用ください。

豆ホッパーの種類と位置



コーヒー豆の補充

本機の天板から豆が見えなくなったら（白線位置）、補充のサインです。新しい豆を補充してください。



豆ホッパーのお手入れ

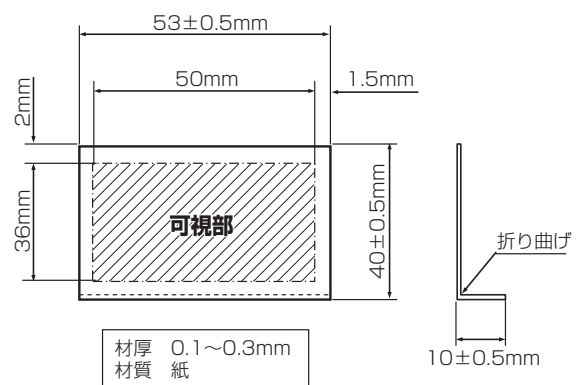
濡らし、かたく絞った布（キッチンクロス）で汚れを拭きとってください。

コーヒー豆の入れ替え

お客様に美味しく提供するために常に新鮮な豆で提供してください。

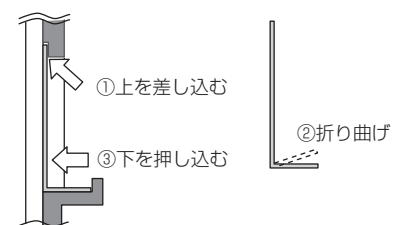
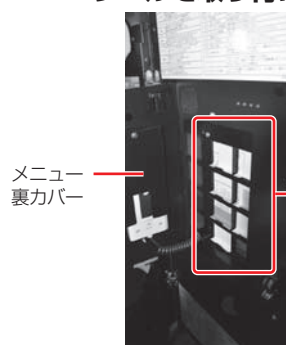
5 メニューラベルの作成

メニューラベルは製品に付属しておりません。
右図の寸法で製作ください。



メニューラベルの取り付け

- ① 本機左下の鍵口に鍵を差し、反時計方向に回し本機の扉を開けます。
- ② 本メニュー裏カバーのつまみを回し、メニュー裏カバーを開いて扉の裏側からラベルを取り付けてください。



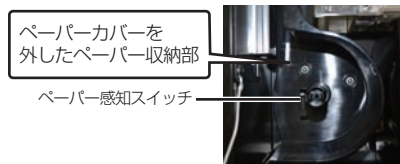
設置・立ち上げ

6 ペーパーフィルターのセット

① コーヒーバッファアームを持ち上げてください。

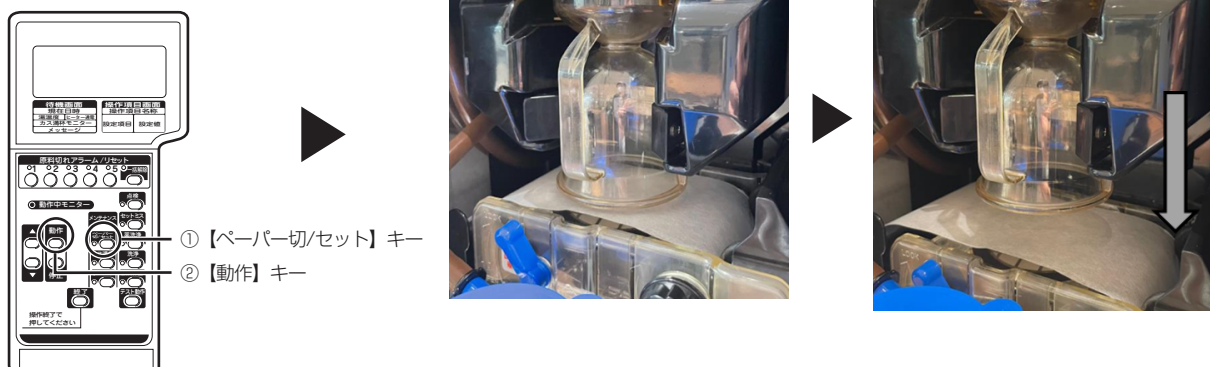


② ペーパー収納部の透明のペーパーカバーをつまみを寄せてはずします。



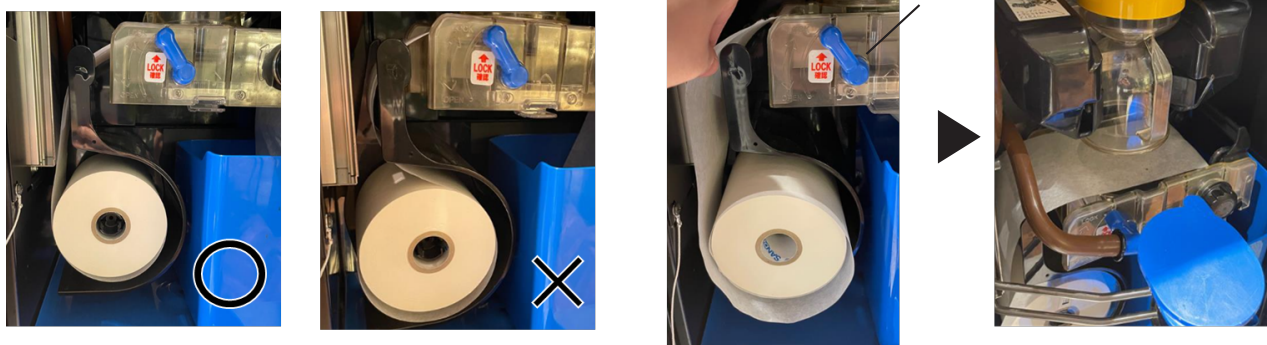
③ キーボードの【ペーパー切/セット】キーを押し、さらに【動作】キーを押してください。

ドリップパンが下がります。

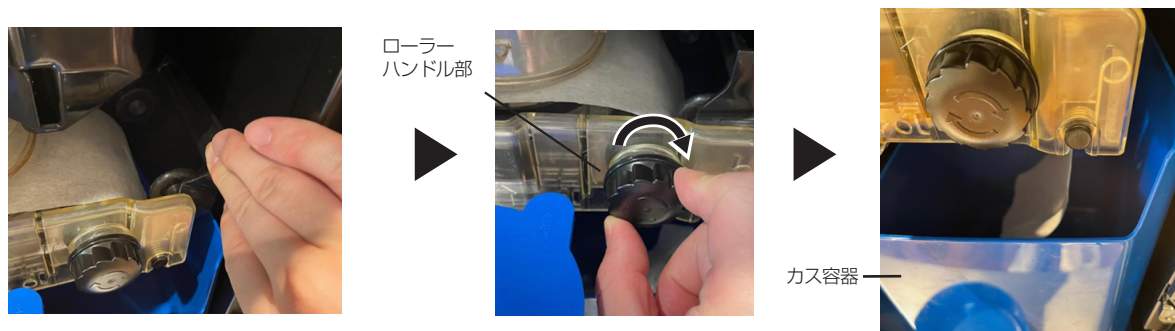


④ ペーパーを下記の向きに入れ、ペーパーを引き上げ、ドリップパン上のローラー部まではわせませす。

正しいペーパーの取り付け 間違ったペーパーの取り付け



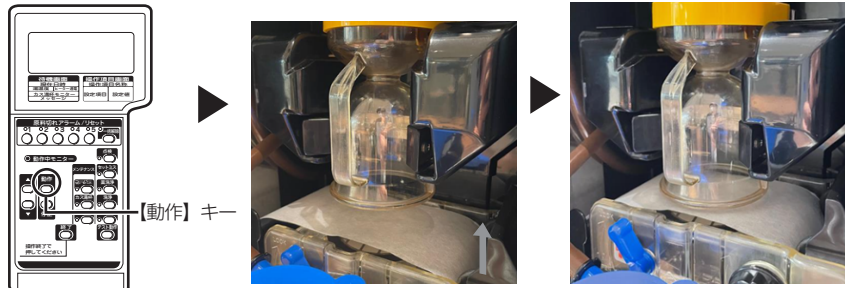
⑤ ペーパー先端を紙押さえローラーのハンドル部を時計方向に倒しつつハンドルノブを回して、ペーパーをローラーに引き込み、ペーパー先端を確実にカス容器に入れてください。



※必ず、専用のペーパーフィルターをご使用ください。

⑥ キーボードの【動作】キーを押してください。

ドリップパンが上がり、待機状態に戻ります。



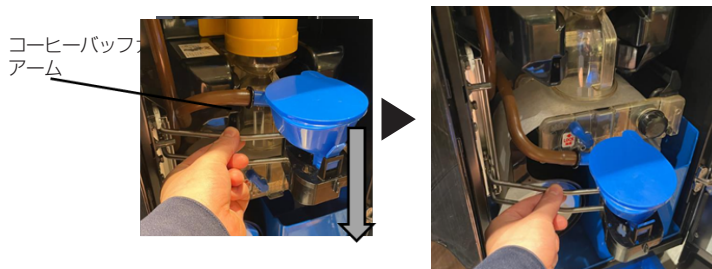
⑦ ペーパーカバーを取付けてください。

カチッと音がするまで押しこんでください。



⑧ コーヒーバッファアームを下げてから本機の扉を開けてください。(扉を閉めると鍵がかかります。)

必ずコーヒーバッファアームを下げてから扉を開めてください。下げずに扉を閉めるとキーボードに接触し、誤動作の原因やコーヒーバッファが破損する恐れがあります。

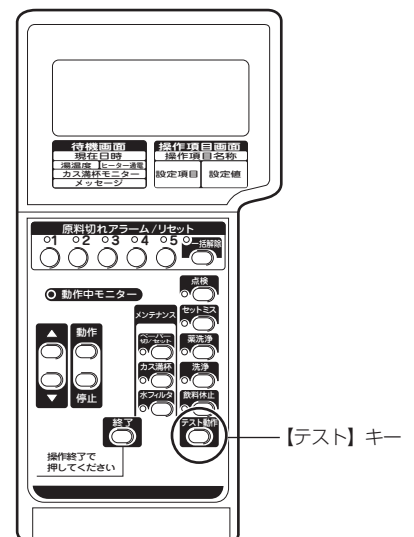


⚠ 注意 ペーパーカバーを忘れると、ペーパー切れの警告が出ることがあります。

7 流量調整テスト

内部キーボード【テスト動作】【01】の内容を実施してください。

- ① マメ1、マメ2：吐出した量を実測し（3～5回程度）、算出した平均値を設定します。
- ② ユ1：吐出した量を実測し、その平均値が125±10mlの範囲内の場合はその値を設定します。
この範囲を外れた場合は、本体右側板を外し湯弁のニードルを調整し範囲内となるようにしてください。



8 テスト販売

湯が適温に達すると選択ボタン内のLEDが点灯し、抽出可能状態になります。カップをカップステージに置き、ボタンを押して飲料を抽出し以下の点を確認してください。

- 選択したボタンと吐出した豆原料は合っているか。
- 飲料量に過不足はないか。
- 紙送り量は適切（100～120mm）か。
- 抽出液が通路外にこぼれていないか。コーヒー原料の飛散がないか。
- コーヒーの味覚に異常がないか。

コーヒーの抽出

コーヒーの抽出

選択ボタンのLEDランプが点灯していれば、コーヒーは抽出可能です。

- 1** カップ扉を開けて、抽出口下にカップをセットし、
カップ扉を閉じてください



- 2** 抽出ボタンを押すと抽出が開始されます。
(抽出可能なボタンにはLEDランプが点灯しています)
抽出中はプロセス表示にオレンジランプが順次点滅します
オレンジランプが消灯すると抽出完了です。



- 3** カップ扉を開けて、カップを取り出してください。



コーヒー味調節のしかた

■味覚変動要素

コーヒーの味覚は次の要素により変化します。
お好みの味覚となるよう調整してお使いください。

要素A 豆の品種

- ①ホットコーヒー用は浅煎り豆、アイスコーヒー用は深煎り豆をお使いください。
- ②深煎り豆は表面の油脂分が多く、豆シュートの斜面に残りやすい性質があるため、キャニスター2の位置でお使いください。

要素B ミルの粒度

- ①標準はノッチ3でお使いください。
- ②数字を小さくすると粒度が細くなり、濃度は増加しますが雑味やダスト(微粉)も増加します。
- ③数字を大きくすると粒度が荒くなり、濃度は低下しますが雑味が出にくくなりスッキリした味になります。
- ④ホット用とアイス用でミルの粒度を変えることはできません。

要素C 抽出レシピ

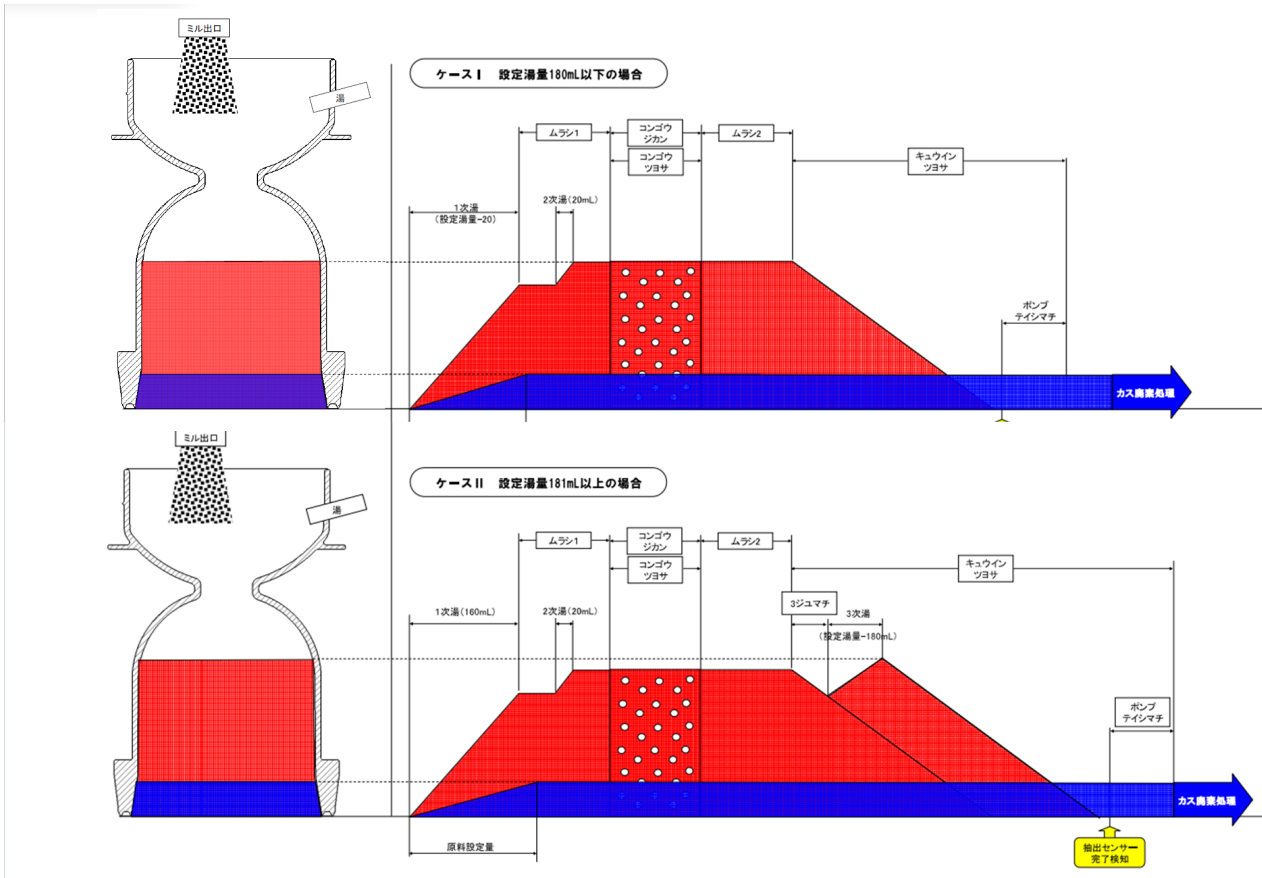
- ①選択ボタン毎に飲料コードが割り当てられています。
- ②次のページの飲料コード内設定項目を変化させることで味覚が調整できます。

飲料コード内設定項目

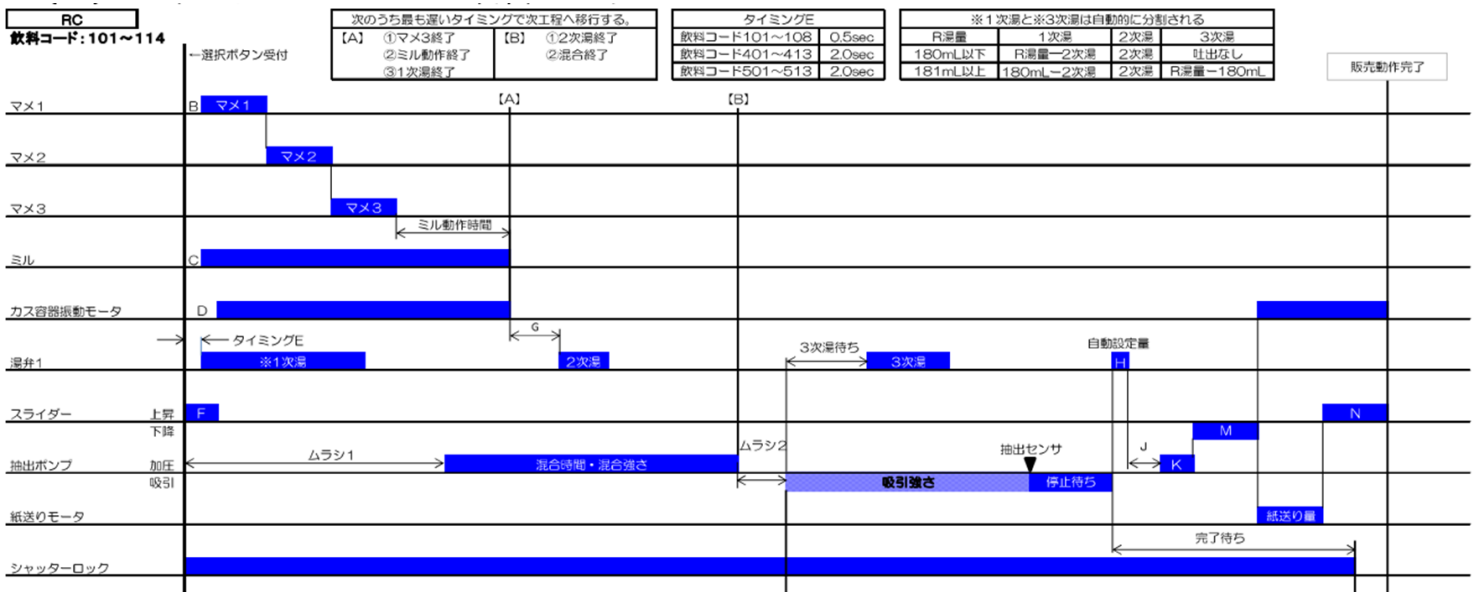
設定項目	画面表示	項目の内容	調整のポイント
豆原料量	マメ1 マメ2 (マメ3)	<ul style="list-style-type: none"> ・1回の抽出に使用する豆の投下量を設定します。 ・マメ1とマメ2に数値を設定するとマメ1→マメ2の順にそれぞれ設定された量を吐出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・投下量とコーヒー濃度は比例します。 ・豆のブレンドによる味造りにご利用ください。
湯量	Rユリヨウ	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーに吐出する総湯量を設定します。 ・総湯量は自動的に所定のタイミングで分割されて吐出します。湯量に対する分割のしかたはタイミングチャートをご覧ください。 ・湯量は廃棄原料に吸収されるため最終品量は5～15mL減少します。吸収量は豆の品種やミル粒度により変化しますので、実際にお使いになる設定で最終品量を確認し、所定の液量となるよう調整してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豆と湯量の標準比率は豆10gに対し湯量140mLです。 ・豆量に対し湯量を増せば濃度は低下、湯量を減らせば濃度は上がります。
2次湯	R2ジユ	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーに2回目に吐出する湯量を設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の湯量が少なくコーヒー原料が流しきれないときは、Rユリヨウを増加した後R2ジユの設定値を増加します。(R2ジユはR湯量の1/2異常は設定不可の為)
蒸らし1	ムラシジカン1	<ul style="list-style-type: none"> ・1次湯が出終わってから攪拌を開始するまでの静止時間を設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ムラシ1を長く、後工程の混合時間を短くすると雑味が抑えられます。
蒸らし2	ムラシジカン2	<ul style="list-style-type: none"> ・混合終了から吸引開始までの静止時間を設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前工程の混合で舞い上がっていた原料が着地するまで待ち時間を入れることで濃度が上がります。
混合時間	コンゴウジカン	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーフィルターの下側から空気を送り込み、上昇する気泡によりチャンバー内の湯と原料粉を攪拌混合する時間を設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長く設定することで濃度は高まりますが、苦み・雑味も増加します。
混合強さ	コンゴウツヨサ	<ul style="list-style-type: none"> ・攪拌混合工程で送り込む空気の強さ（空気量を5段階で設定します。強さレベル 5 > 4 > 3 > 2 > 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスコーヒー用等で濃度や苦みを強く出す時はレベル5に、アメリカンコーヒーのように雑味を抑えさっぱりした味にするときはレベル3を設定してください。
吸引強さ	キュウインツヨサ	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンバー内のコーヒー液をペーパーフィルタを通して吸引する強さを5段階で設定します。強さレベル 5 > 4 > 3 > 2 > 1 吸引時間は抽出センサーにより自動的に決定されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・抽出時間を早めるときはレベル5を、雑味やダストをできるだけ抑えたいときはレベル3を設定します。
3次湯待ち	3ジユマチジカン	<ul style="list-style-type: none"> ・R湯量が180mL以上に設定されたときに働く機能です。混合液の吸引を開始してから3次湯を投入するまでの待ち時間を設定します。 ・チャンバー内の液レベルが40～60mmの時に3次湯が投下されるタイミングが標準です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原料の種類や豆粉碎粒度、或いは吸引強さ設定値により混合液が吸引される速度は変化します。 ・R湯量が180mLを超えた分の湯量が3次湯として投入されますが吸引速度が遅い場合はこの待ち時間を延長します。
ポンプ停止待ち	ポンプテイシマチ	<ul style="list-style-type: none"> ・抽出センサーが抽出完了を検知してから、吸引運転を停止するまでの時間を設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄カスに水分が多く、カス移動時にペーパー外に流れ出る兆候が出る場合はこの時間を長くしてください。 ・4秒以上設定して下さい。短いと配管内に液が残り吐出量がバラつきます。
ミル動作	ミルドウサジカン	<ul style="list-style-type: none"> ・豆キャニスター動作終了からミルの運転をOFFするまでの時間を設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミルが停止した後ミル入り口に豆が残っているときはこの時間を長くしてください。
完了待ち	カンリヨウマチ	<ul style="list-style-type: none"> ・吸引行程が終了してから抽出完了とするまでの待ち時間を設定します。吸引行程が終了してもバッファ内のコーヒー液が出終わるまで時間がかかりますので、このタイミング設定が必要になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工場出荷時は一定の時間が設定してありますが、バッファからの液吐出が終わり後だれが無くなるまでの時間に合うように設定を修正してください。この時間終了後に取り出し口シャッタのロックを解除し、カップ取り出しができるようになります。

コーヒーの抽出

レギュラーコーヒー抽出プロセス説明図



レギュラーコーヒータイミングチャート



メンテナンス

適宜おこなうメンテナンス

コーヒーカスを捨てる

カス容器は30杯分までためることができます。

※コーヒーカスを捨てた場合は、必ずキーボードの【カス満杯】キーを押し、【動作】キーを押して、杯数をリセットしてください。

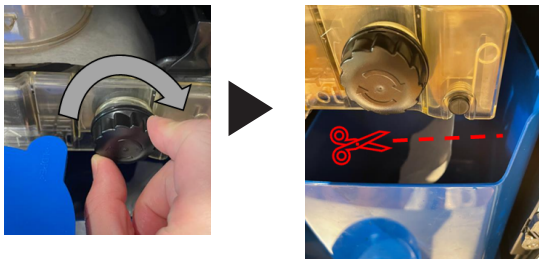
- 1** 本機左下の鍵口に鍵を差し、反時計方向に回し本機の扉を開けます。



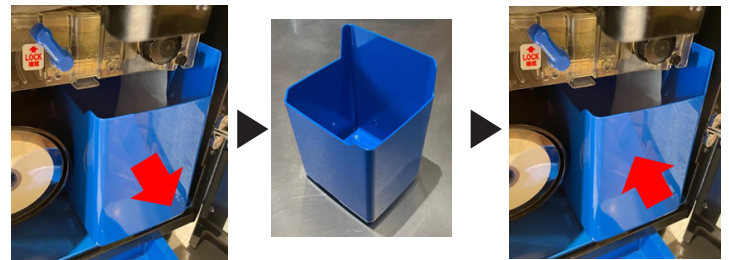
- 2** コーヒーバッファアームを持ち上げてください。



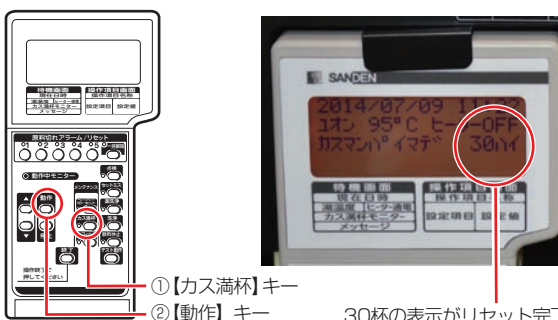
- 3** ドリップパンのハンドルノブを時計まわりに回し、ペーパーを送り、はさみで切ってください。
はさみマーク位置のペーパーをはさみで切ってください。



- 4** カス容器を取り出しカスを捨てて、カス容器を水ですすいで、内部をきれいにしてから、本機内部に戻してください。



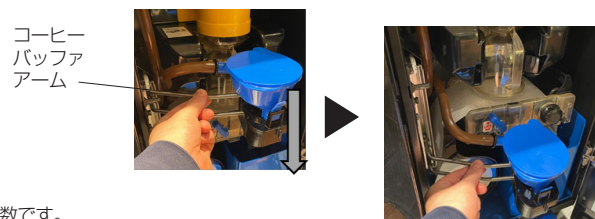
- 5** キーボードの【カス満杯】キーを押し、【動作】キーを押して、杯数をリセットしてください。



①【カス満杯】キー
②【動作】キー

30杯の表示がリセット完了の杯数です。
※カス満杯数アラーム設定で設定した杯数が表示されます。

- 6** コーヒーバッファアームを下げてから本機の扉を閉めてください。(扉を閉めると鍵がかかります。)
必ずコーヒーバッファアームを下げてから扉を閉めてください。下げずに扉を閉めるとキーボードに接触し、誤動作の原因やコーヒーバッファが破損する恐れがあります。



- 7** 抽出ボタンのLEDランプが点灯すると抽出可能となります。



注意

カス容器にビニール袋は絶対に使用しないでください。ペーパーが正しく送れず、トラブルの原因になります。



メンテナンス

適宜おこなうメンテナンス

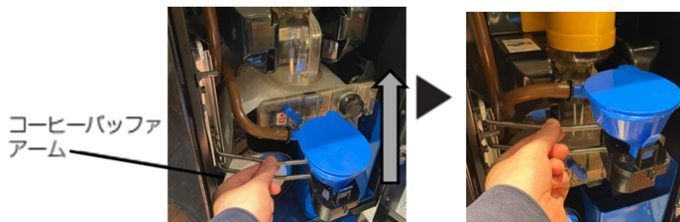
ペーパーフィルターの交換方法

ペーパーは約1000杯分使用できます。

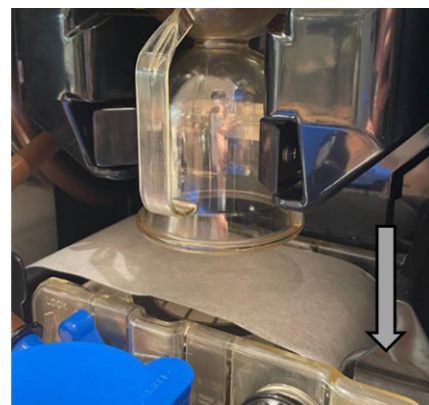
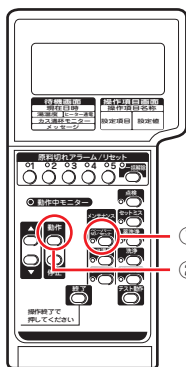
- 1** 本機左下の鍵口に鍵を差し、反時計方向に回し本機の扉を開けます。



- 2** コーヒーバッファアームを持ち上げてください。

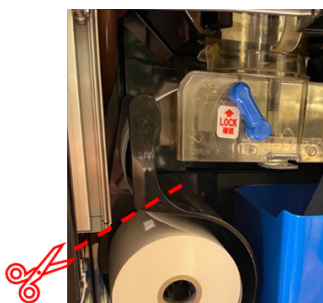


- 3** キーボードの【ペーパー切/セット】キーを押し、さらに【動作】キーを押してください。ドリップパンが下がります。



- 4** ペーパーが残っていたら、はさみマーク位置のペーパーをはさみで切ってください。

ドリップパンのハンドルノブを時計まわりに回してペーパーを送り、残ったペーパーをカス容器に排出します。



- 5** 透明のペーパーカバーをつまみを寄せてはずし、残ったペーパーを取り出します。



※必ず、専用のペーパーフィルターをご使用ください。

適宜おこなうメンテナンス

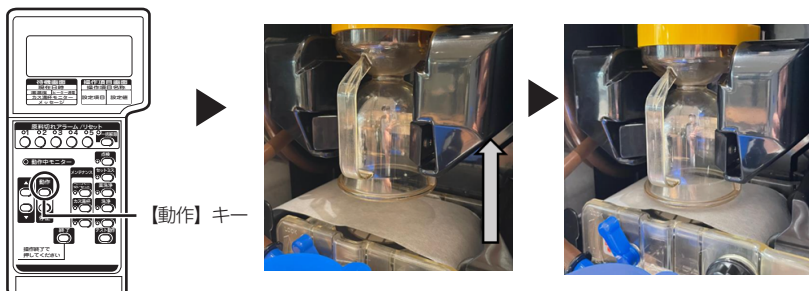
6 新しいペーパーを下記の向きに入れ、ペーパーを引き上げ、ドリップパン上のローラー部まではわせませす。



7 ペーパー先端を紙押さえローラーのハンドル部を時計方向に倒しつつハンドルノブを回して、ペーパーをローラーに引き込み、ペーパー先端を確実にカス容器に入れてください。



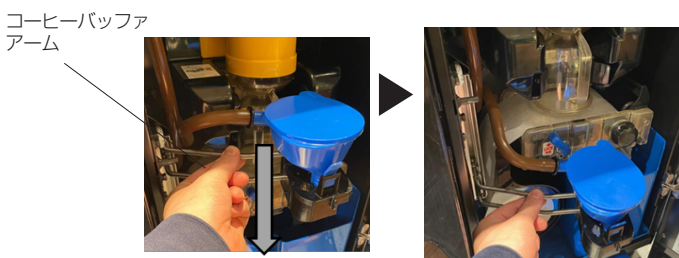
8 キーボードの【動作】キーを押してください。
ドリップパンが上がり、待機状態に戻ります。



9 ペーパーカバーを取付けてください。
カチッと音がするまで押しこんでください。



10 コーヒーバフアームを下げたから本機の扉を閉めてください。(扉を閉めると鍵がかかります。)
必ずコーヒーバフアームを下げたから扉を閉めてください。下げずに扉を閉めるとキーボードに接触し、誤動作の原因やコーヒーバフアームが破損する恐れがあります。



⚠ 注意 ペーパーカバーを忘れると、ペーパー切れの警告が出ることがあります。

メンテナンス

各部部品のはずし方

※必ず電源を切ってから行ってください。

① ブルーワーチャンバー チャンバーダクト

水平手前に引き出す

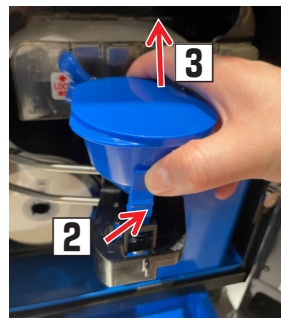


② コーヒーバッファ/ バッファカバー

①ホースを外す

②レバーを押す

③持ち上げる



③ カス容器

手前を持ち上げ引き出す



④ 排水トレイ

水平手前に引き出す



⑤ ドレンパン

手前を持ち上げ引き出す



⑥ ダクトボックス (フィルター)

水平手前に引き出す



⑦ カップステージ

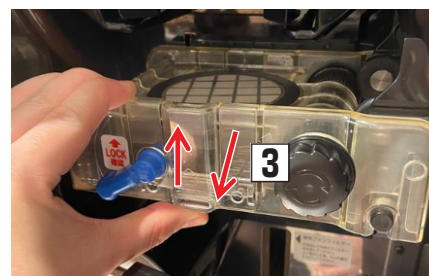
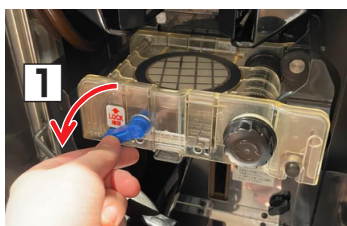
手前を持ち上げ引き出す



⑧ ドリップパン

①レバーを矢印 (OPEN) 方向に
回す

②ドリップパンの下のツマミを持ち上げながら、
③手前に引き出す



⑨ 換気フィルター下

水平手前に引き出す



⑩ 豆シュート

①もち上げ

②手前に引き出す



取付時、豆シュートの
耳が確実に入っていること

※必ず、本機内部にある電源を切ってから行ってください。

中性洗剤で丁寧に洗い、洗剤をよく洗い流してください。

※クレンザーや漂白剤は絶対にご使用しないでください。

洗浄後は、水分を十分にふき取り乾燥させてから組みつけてください。

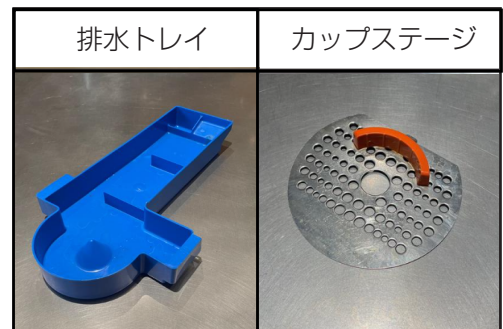
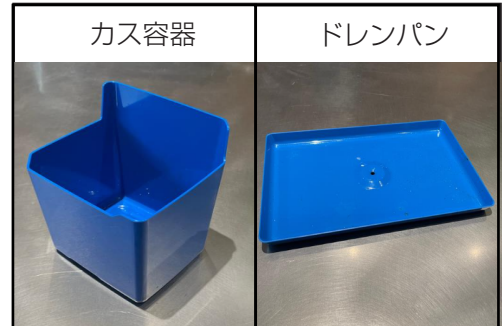
毎日の洗浄



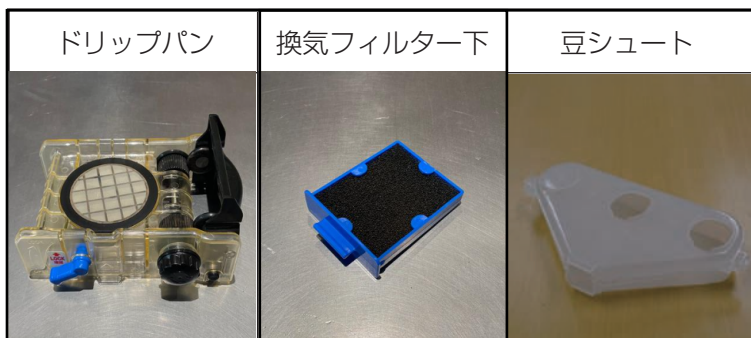
分解

分解

分解



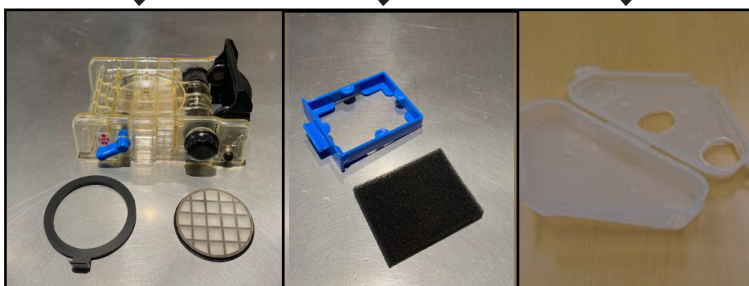
毎週の洗浄



分解

分解

分解



メンテナンス

各部部品の取り付け方

※必ず電源を切ってから行ってください。
全ての部品を取り付けたら、扉を閉め運転を開始してください。

① カップステージ

奥から差し込んでセットする



② 豆シュート

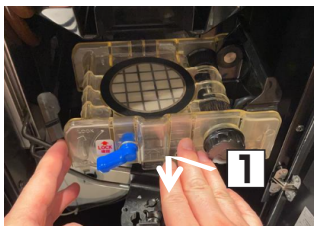
下の出口を豆投入口にあわせセットしてください。



取付時、豆シュートの
耳が確実に入っていること

③ ドリップパン

① ドリップパンをカチッと音がするまで押しこんでください。



② レバーを矢印 (LOCK) 方向に回してください。



⚠ 注意

ドリップパンは、必ず両手で水平にカチッと音がなるまで押し込んで取り付けてください。

また、レバーがLOCKの位置になっているかご確認ください。

取り付けが不十分な場合、エラーコード3089が表示され、コーヒー溢れなどにより不具合の原因となります。

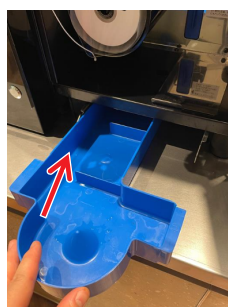
④ 換気フィルター下

水平に押し込みセット



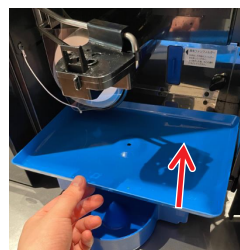
⑤ 排水トレイ

水平に押し込みセット



⑥ ドレンパン

水平に押し込みセット



⑦ ダクトボックス (フィルター)

水平に押し込みセット



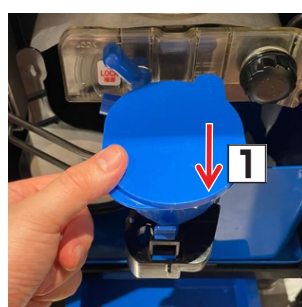
⑧ ブルーワーチャンバー チャンバーダクト

水平に押し込みセット

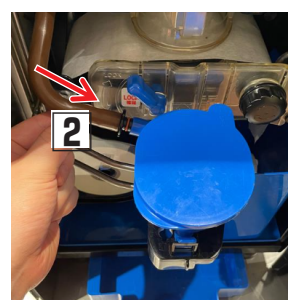


⑨ コーヒーバッファ/バッファカバー

① 差し込む

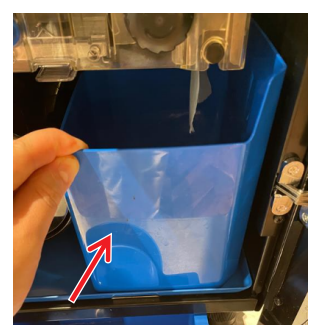


② ホースをつなぐ



⑩ カス容器

水平に押し込みセット



薬洗浄の手順

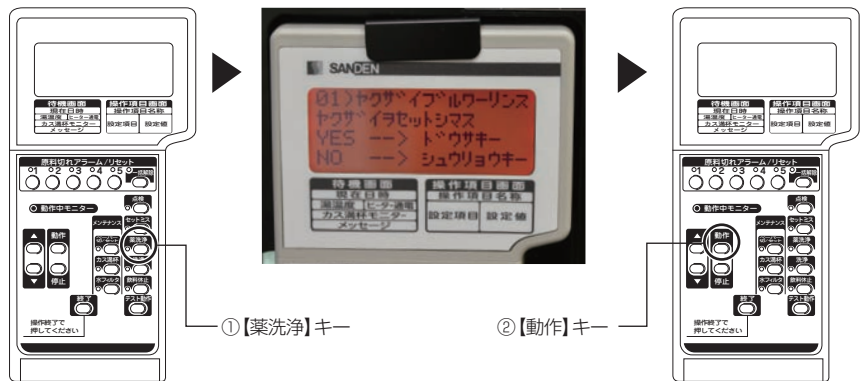
※薬洗浄は、途中で解除できません。
 ※薬洗浄中に電源を切っても、電源投入後に薬洗浄が開始されます。

※薬洗浄では、抽出口より約600mlの洗浄水が排出されます、600ml以上の洗浄水が入る容器をご用意ください。

1 本機の扉をあけ、洗浄水を受ける容器を排水トレイの上にセットします。



2 キーボードの【薬洗浄】キーを押すと、下記内容が表示されます。
 【動作】キーを押してください。



3 ブルーワーチャンバーとドリップパンのスキマが開いたら、薬剤(タブレット)を1個ペーパー上のチャンバー中心位置に置きます。



※薬剤 (タブレット) を置きやすくするため
 ドリップパンが下がります。

4 キーボードの【動作】キーを押してください。
 洗浄が自動で開始されます。

1回目の給湯で薬剤を溶かし、2回目・3回目の給湯ですすぎ動作をします。
 終了まで、4分程度かかります。



5 “ピー！”と音がしたら、洗浄終了です。

6 排水を受けた容器を取り外し、作業は終了です。
 本機の扉を閉め、抽出可能になるまでお待ちください。

※必ず、専用の薬剤をご使用ください。

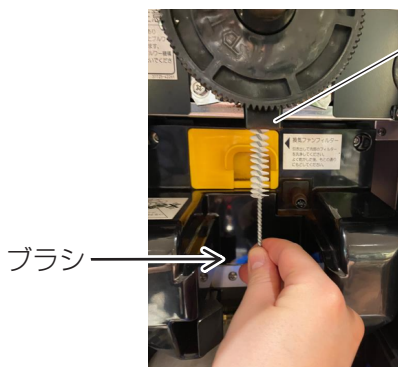
メンテナンス

毎日のお手入れ

ブラシ・ハケで払うもの ※必ず、本機内部にある電源を切ってから行ってください。

◎コーヒーミル吐出口

ブルーワーチャンバーを外すと
コーヒーミル吐出口が見えます。



※ミルダイヤルは
動かさないでください。



※ミルダイヤルを動かすと
コーヒーの味が変わってしまいます。
ミルダイヤルを動かした場合は
元の位置にもどしてください。

↑写真は豆シュート、ドリップパン、
コーヒーバッファ等を外した状態です。

◎内部各箇所

ドリップパンを使いコーヒー粉を受け
止めながら清掃を行ってください。



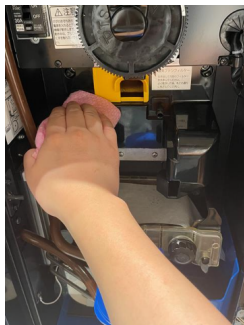
拭きとるもの ※必ず電源を切ってから行ってください。

濡らし、かたく絞った布(キッチンクロス)で汚れを拭いてください。

⚠ 注意

清掃時には外装カバー等に
アルコール(アルペット)は噴霧しないでください。

◎コーヒーチャンバー周辺



◎カス容器周辺



◎ドレンパン下



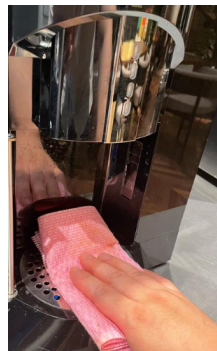
◎扉内側



◎外扉表面



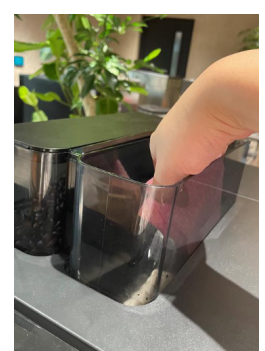
◎カップエリア背面



◎カップ扉内側



◎豆ホッパー内側



※超時間扉を開いたままにしますと、キーボードにエラーコード「3052 チャンバーセットミス」が表示されることがあります。

エラーコード

エラーコードと処置方法

本機に異常がある場合はキーボード画面上にエラーコードが表示されます。

その場合はエラーコードを確認し処置内容の対処をお願い致します。

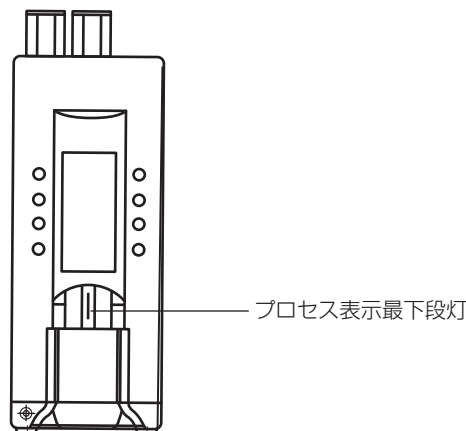
エラーコード	内 容	処 置
901	排水満水	排水トレイの廃液を捨て、トレイを洗浄して再度セットしてください。
903	湯タンク低水位	給水経路を点検してください。
904	インスタント系湯低温	湯温が適温になるまでお待ちください。
905	レギュラー系湯低温	湯温が適温になるまでお待ちください。
907	食衛ホールド	【点検】キーを3回押し、表示に従いリセットしてください。
980	ペーパー売り切れ	新しいペーパーフィルターをセットしてください
988	湯タンク断水	【点検】キーを3回押し、表示に従いリセットしてください。
3031 3032	原料売り切れ	該当番号のキャニスターの原料を補給して、 【原料切れアラーム/リセット】キーで売り切れをリセットしてください。 キーで売り切れをリセットしてください。
3089	搬出圧力異常	ドリップパンが正常にセットされているか確認してください。
3052	チャンバーセットミス	チャンバー又はドリップパンが装着されていません。 【セットミス】 → 【動作】キーを押し、ブルワーを待機位置にもどしてからチャンバー又はドリップパンを装着してください。
3053	コーヒーカス満杯	コーヒーカスを廃棄してカス容器をセットし、 【カス満杯】 → 【動作】キーを押しリセットしてください。

故障表示

警告表示モニターによる故障診断

扉裏面の警告表示部



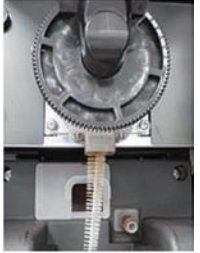
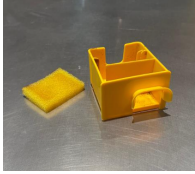
扉表面プロセス表示灯





表示灯 点灯位置	点灯状態	売り切れ・故障状態	処 置
点検	点滅	一時的な売り切れ項目発生で飲料抽出を停止中	【点検】 キーで内容確認
	点灯	修理が必要な故障発生で飲料抽出を停止中	【点検】 キーで内容確認
排水トレイ満水	点灯	排水トレイが満水のため飲料抽出を停止中	排水トレイの排水を捨て、水洗いしてよく水をきって再セット
ペーパー切れ	点滅	5杯以内にペーパー切れとなる予告中	点滅中にペーパー交換すれば売り切れクレームを未然に防止できる。
	点灯	ペーパー切れのため飲料抽出を停止中	ペーパーフィルターを交換
カス満杯	点滅	5杯以内にカス満杯となる予告中	点滅中にカス廃棄しリセットすれば売り切れクレームを未然に防止できる。
	点灯	カス満杯のため飲料抽出を停止中	カスを廃棄しアラームをリセットする
プロセス表示	点滅	5杯以内にペーパー切れ又はカス満杯となる予告中	扉裏面の警告表示灯でどちらの原因かを確認し、上述の対応をする。

故障かな？

◎ 次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

コーヒーが“うすい”	確認と対応
豆ホッパー内のコーヒー豆が少なくなっていますか？	<p>コーヒー豆を豆ホッパーに十分に補給してください。 少なくともマシン天板より上になる程度に補給してください。</p> 
豆シュートまたはコーヒーミルにコーヒー豆が詰まっていますか？	<p>豆シュート内部に水分が付着していたり、豆の油が付着しているとコーヒー豆がすべり落ちないことがあります。 豆シュートを右図のように開き、水分や油分をふき取ってからご使用ください。</p> 
コーヒー豆の挽き粉がコーヒーミルの出口に詰まっていますか？	<p>専用ブラシでコーヒーミル吐出口を清掃してください。</p> 
ダクトボックス(フィルター)がコーヒーの引き粉で目詰りしていませんか？	<p>フィルターに詰まったコーヒー挽き粉を除去してください。 洗浄後は濡れたまま使用せず、よく乾かしてから取り付けてください。</p> 

コーヒーの量が“少ない”/“多い”	確認と対応
ドリップパンのパッキンから液漏れしていませんか？	<p>パッキンのはめ込みが不完全だと液漏れしますので、指でパッキン全周を押し込んでください。</p> 
	<p>パッキンが切れていませんか？</p> 

湯タンクの加熱がはじまらない	確認と対応
排水トレイを奥まできちんと装着していますか？排水トレイの満水検知センサーの前に障害物はありませんか？	排水トレイの満水検知センサーが作動していると加熱は始まりません。満水検知センサーが汚れていれば掃除し、排水トレイがきちんと装着されているか確認してください。

故障かな？

◎ 次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

<p>ペーパーがあるのに、 “ペーパー切れ”表示が消えない</p>	<p>確認と対応</p>
<p>専用ペーパーを使用していますか？ 専用のペーパーをご使用ください。</p>	<p>専用ペーパー以外を使用すると不具合の原因になります。</p>
<p>ペーパーカバーを取り付けていないか、 ペーパーカバーのはめ込みが浅いことが 考えられます。</p>	<p>ペーパーカバーをペーパー軸 付近で押して正しく取り付け てご使用ください。</p> 
<p>排水トレイの廃液を捨てたのに、 “排水トレイ満水”表示が消えない</p>	<p>確認と対応</p>
<p>廃液量を検知するセンサは非接触タイプの ものです。排水トレイの検知部が濡れて いると誤動作することがあります。</p>	<p>排水トレイの右記指示部の 外側・内側の水分をペーパー タオル等でふき取って ください。</p> 
<p>カス容器のゴミを捨てたのに、 “カス満杯”表示が消えない</p>	<p>確認と対応</p>
<p>【カス満杯】クリアの操作が終わってない 可能性があります。</p>	<p>キーボードの【カス満杯】キーを押した後、続けて 【動作】キーを押してください。</p> 
<p>扉が閉まらない/閉めにくい</p>	<p>確認と対応</p>
<p>コーヒーバッファが上位置にありますか？</p>	<p>コーヒーバッファは上下しますが、扉を閉める際には 下位置にしてください。</p> 
<p>扉の上方または下方を押して閉めていませんか？</p>	<p>扉のロック部が赤丸印部にあります。 また、ワンタッチロックなので、 赤丸印部の付近を押し込むように 閉めてください。</p> 

仕様

区分	項目	仕様				備考
一般	製品型名	BM-SAD2				
	外形寸法 (mm)	幅300×奥行622×高さ850				
	製品質量	41kg (空重量)、 46kg (中身充填時)				
電気仕様	定格電源	単相交流100V 50/60hz 15A				
	定格消費電力	35W				
	定格電熱電力	1,000W				
	電源コード	L型2極プラグ 機外長2.5m				
	アース線	本体背面に取付け 長さ2.5m				
	漏電遮断器	内蔵 定格感度電流15mA				
給水	給水方式	水道直結式				
原料容器	キャニスター構成	容器No.	原料	容積		
		豆1	コーヒー豆	2.4L	(正面から見て左側)	
		豆2	コーヒー豆	2.4L	(正面から見て右側)	
湯沸かし装置	湯タンク貯湯量	3.5L				
	ヒーター容量	1,000w (700w+300w)				
	湯電磁弁	ブルワー給湯用 1 個				
	安全装置	手動復帰式温度過昇防止器、沸騰防止装置、空焚き防止装置				
抽出装置	ブルワー型式	SCB-P2				
	ろ過方式	ペーパーフィルター式 (適用ペーパー：指定品)				ペーパーフィルター：約130m
	コーヒーミル	カッピング式 (手動復帰式過負荷プロテクタ付き)				
扉部	選択ボタン数	8 個				
	適用カップサイズ	口径Φ65~85mm 高さ80~135mm				7oz~16oz カップ相当
	取り出し口シャッター	透明扉シャッター付き 抽出中はロック				
	メニュー表示	扉裏面よりメニューラベル差し込み式				
	鍵	付き 左回しで解錠 扉押し込みで施錠				
	香り出しファン	付き				ON/OFF は選択可
	メニュー照明装置	白色LED 照明				ON/OFF は選択可
	カップステージ照明	白色LED 照明				ON/OFF は選択可
	プロセス表示	4 段階表示				
	オレンジLED	抽出可能表示 選択ボタン内蔵白色LED 抽出可時点灯				
警告表示	扉裏面に4 項目表示				③④は予告機能有	
	①点検②排水満水③カス満杯④ペーパー切れ					
制御装置	制御方式	マイコン制御式				
	データIN/OUT	USB				
	操作キーボード	扉裏面に固定式 2 面キー配列 (カバー面/カバー内面) 16 桁4 行 バックライト付モニター				
	キーロック機能	暗証番号によるキー操作ロック機能付き				
備品	排水トレイ	容量1L 満水検知機能付き				機能ON/OFF は選択可
	カス容器	容量3.3L				
	ブラシ(大)、ブラシ(細)					

※ペーパーフィルターと薬洗剤(タブレット)は付属されておりません。

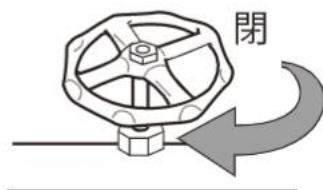
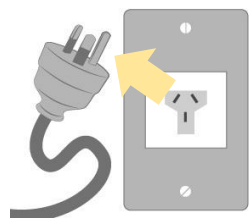
安全上の注意事項

コーヒーマシンを安全にご使用いただくために営業終了後など長時間作業者がいない場合は必ず下記の作業の実施をお願い致します。

終業時の手順

1. マシンの電源をOFFにしてください
2. 電源プラグをコンセントから抜いてください
3. 止水弁を閉めてください

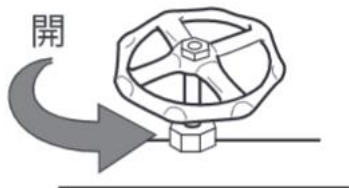
※電源コードをもって抜かないでください
濡れた手で電源プラグに触れないでください



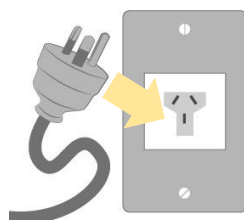
電源プラグは水がかからない場所で保管してください

始業時の手順

1. 止水弁を開けてください
2. 電源プラグをコンセントに差し込んでください



※濡れた手で電源プラグに触れないでください
電源はアース付きの専用のコンセントに取り付けてください



3. マシンの電源をONにしてください

製品保証書

型式	機番	保証期間
お客様様	お名前 様	お買上げ日より 1 年
	ご住所 〒	お買上げ日
	電話 () -	* 年 月 日
*販売店名		
住所		
電話 () -		

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキーコーヒーマシン 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

事業所については
こちらをご覧ください

